大妻女子大学

社会情報学部 社会情報学科
社会生活情報学専攻
http://www.sis.otsuma.ac.jp/dept1/

社会情報学部 社会情報学科

社会生活情報学専攻

Faculty of Social Information Studies

- 経済・経営学系
- 社会学系
- メディア学系

「経済・経営学」「社会学」「メディア学」
3つのフィールドをとおして、
社会や人間について 深く広く学んでみませんか。

GUIDE BOOK 2023

STUDY

社会生活情報学専攻の学びのフィールド

インターネットは、私たちの社会や生活のあり方を大きく変えました。そして今、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）のような新しい情報技術の登場によって、再び大きな変化が訪れようとしています。社会の営みが一層効率化され、人々の生活がより便利になる一方で、人々がこれまで経験したことのない新しい問題も生まれてくるでしょう。
これからの情報社会を生き抜くためには、情報技術を身につけるとともに、社会や人間を深く知る必要があります。情報化と関連の深い文系の学問を学べる場が社会生活情報学専攻です。「経済・経営学」「社会学」「メディア学」という3つのフィールドをとおして、社会や人間について深く広く学んでみませんか。

科目履修で取得できる資格

- 高等学校教諭一種免許状（情報）
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書
- 博物館学芸員
- レクリエーション・インストラクター

めざせる資格

- 基本情報技術者試験
- ITパスポート試験

ECONOMY

経済・経営学系

現代社会を動かす経済活動と経営活動。需要と供給の関係を扱う経済学では、個人から企業、政府までさまざまなレベルの選択と判断を考えます。経営学では効果的な意思決定につながる企業の組織戦略やマーケティングを学び、経済学とあわせて現代社会を分析します。

SOCIETY

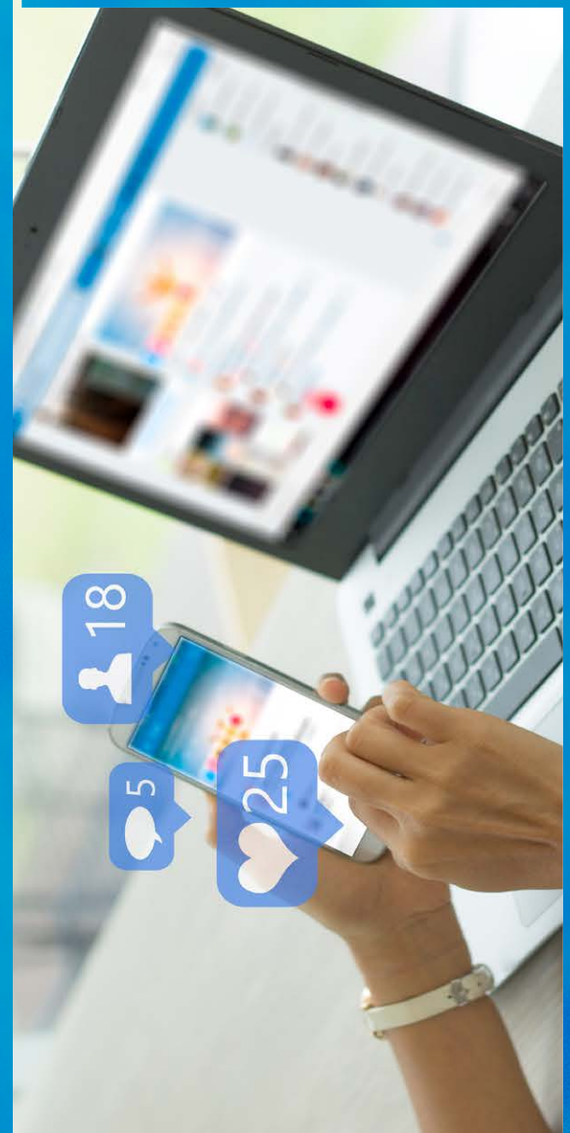
社会学系

変化する女性をとりまく社会状況。その理解に必要な社会システム、グローバル化、文化、労働、ジェンダー、権力、社会心理など多角的な視点。社会理論とあわせ、データから社会を読み解く社会調査の方法を学ぶことで、柔軟な思考力と問題解決能力を身につけます。

MEDIA

メディア学系

話すことばや文字。日々の出来事を伝える新聞やテレビ・ラジオなどのマスメディア。さらにTwitter、Instagramなど個人が使う交流サイト。私たちの生活にはさまざまなメディアが運ぶ情報が浸透しています。「情報」をキーワードに現代社会の仕組みに迫ります。



C L A S S

講義紹介

「経済・経営学」「社会学」「メディア学」を中心に、情報社会に 関連する学問を体系的に学ぶための科目が開講されています。人間の行為や心理、社会の構造や文化といった多様な側面について学べます。

INTRODUCTION

ECONOMY 経済・経営学系

●情報の経済学

個人的な情報の取引について分析します

●マーケティング入門

企業がどのように商品を売るのかを考えます

●経営戦略論

経営戦略をどう見て創るのかを明らかにします

学生VOICE

4年 波多江 優奈さん

履修選択が多いので、興味関心に合わせ、様々な知識を得ることができます。経済と経営を基礎から学ぶことで、消費者と企業の2つの視点から経営戦略やマーケティングの効果について理解できます。幅広い分野の知識を吸収し、視野の広がりを実感しています。

SOCIETY 社会学系

●基礎社会学

社会学的なものの見方について説明します

●コミュニケーションと社会

社会をミクロな目で考えます

●量的調査演習

アンケート調査を作成、実施、分析します

学生VOICE

4年 小池 彩乃さん

流行、未婚化、差別、などの社会現象や、私たちの価値観を、常識から一歩離れて分析します。これらは、直接的な経験、あるいはメディアを通した間接的な経験から生じているのでしょうか。"当たり前"を疑うことで、自分の将来についても考えるきっかけになります。

MEDIA メディア学系

●AI社会論

AIと社会の関係を多角的に論じます

●コンテンツ産業論

映画産業や音楽産業の歴史を取り上げます

●ソーシャルメディア論

SNSを題材に現代社会のつながりを理解します

学生VOICE

4年 川村 優奈さん

メディアの歴史的変遷とその社会背景、社会に与える影響について学びます。扱うテーマはアニメ、アイドル、SNSなど様々で、どれも私たちにとって身近なものです。メディアを形づくる背景を知ることで今までとは違った角度でメディアを捉えられるようになり、メディアとの関わり方を考え直すきっかけとなりました。

ZEMINA

ゼミナール

ゼミナール（通称ゼミ）は、講義形式の授業とは異なり、
少人数からなる対話型の授業です。
討論や発表が重視され、ゼミによっては社会見学やゼミ合宿も行われます。

経済・経営学系 P.5-6

社会学系 P.7

メディア学系 P.8

荒川 潔 ゼミナール

担当科目 情報の経済学、ネットワーク経済論、産業組織の経済学

KEY WORD ›› 経済政策 エネルギー政策 交通政策

経済学は選択の科学。
感情と選択の関係を理解し、
望ましい選択につなげます

古くなったものをなかなか手放せないといったことはありませんか。これは思い入れだけではなく、得ることよりも失うことを重視するという心理も影響しています。ショッピングや友人関係などもSNSでのロコミや噂などに左右されますが、これも私たちの選択が感情に影響を受けるためです。このような感情が私たちの選択に与える影響を分析するのが行動経済学です。ゼミでは私たちの行動が感情や情報によってどのように変化するのかをアンケート調査や実験によって明らかにします。

地球温暖化対策として、太陽光発電などの再生可能エネルギーや環境に優しい自動車などの効果的な普及を実現する企業戦略や経済政策とは何かをテーマに研究しています。

佐藤 洋一 ゼミナール

担当科目 現代経済学、現代資本主義論、経済情報分析

KEY WORD ›› 経済学 経済情報分析 現代資本主義論

「学問に王道なし」
基礎を積み重ねて多様な
現実を俯瞰する力を養成します

佐藤ゼミナールでは、政治経済学を理論ベースとして、現代経済の状況を学んでいます。毎年、金融業界を志望する学生が多く集まりますが、金融危機後の資本主義各国の動向や、金融、流通、情報・通信などの業界分析のほか、扱うテーマは多様です。各人の興味・関心、好奇心に沿って、専門書の講読や現地調査などを行い、最終的にはレポート・論文の形にまとめるという伝統的でオーソドックスなスタイルが持ち味です。

経済理論に基づいて、労働市場、金融市場、情報技術の動向を分析し、資本主義経済圏の長期停滞と金融資産の膨張、格差の拡大など、恐慌の現代的現象を研究しています。

山崎 志郎 ゼミナール

担当科目 産業政策、金融政策、産業組織政策

KEY WORD ›› 産業政策 金融政策 産業組織政策

資料館、博物館をめぐりながら、
歴史的視点から現代の社会・経済の
あり方を考えてみよう

都内にはたくさんの博物館、史料館が設置されていて、行政文書や企業が公開しているさまざまな歴史資料が保存されています。文献による勉強だけでなく、実物の資料と対話しながら、現代社会のさまざまな問題を考えたり、企業の文書から、困難を乗り越えてきた経営戦略や組織運営をいろいろ想像したりするのがこのゼミでの楽しみになると思います。このゼミで歴史から現代社会・経済を考察する楽しみを知っていただきたいと思います。

1930年代以降の日本経済政策を研究しています。戦前・戦時の厳しい国際対立、戦後の占領状態、その後の安定世界秩序の中で、日本が取ってきた経済戦略を歴史的観点から分析しています。

桑島 由芙 ゼミナール

担当科目 マーケティング入門、消費者行動論、流通論

KEY WORD ›› 消費者行動論 クチコミ 社会ネットワーク分析

マーケティングを知ることで、
企業のマーケティング活動に
踊らされないようになろう

私たちは日々、さまざまな企業のマーケティング活動にさらされています。企業の側からの視点としてマーケティングを学ぶことで、企業の狙いを意識して生活できるようになることを目指しています。ゼミでは、マーケティングに関する文献を読んで、そこからの課題を全員で議論することに多くの時間を費やします。課外活動として工場見学に行ったり、他の大学のマーケティングを学ぶ学生とディスカッションしたりしています。

消費者の購買行動について研究しています。特に、知人・友人関係のネットワークやインターネット上のネットワークの中でどのように商品が普及していくのかについて関心があります。

山田 幸三 ゼミナール

担当科目 企業と社会、経営戦略論、経営組織論

KEY WORD ›› 経営戦略 経営組織 アントレプレナーシップ

企業の創業から成長のプロセスについて、
経営戦略、経営組織、
アントレプレナーシップの視点から考えます

ゼミでは、企業家や起業に関する基本文献の輪読と事例分析をもとに、私たちの日常生活に深く関わっている企業の創業や経営について理解する力を養います。ゼミは自分自身の研究報告の場というだけではなく、学生同士の学びあいと交流の場でもあります。他の学生の研究内容に関心を持ち、ゼミ活動を通じてお互いを高めあおうとする意識を持ってください。

企業の新事業や伝統工芸産業の産地におけるイノベーションについて、経営戦略、経営組織、アントレプレナーシップの視点から理論的・実証的に研究しています。

池田 緑 ゼミナール

担当科目 グローバリゼーションの社会学、ジェンダーとコロニアリズム、メディアと社会変容

KEY WORD ▸▸ 植民地主義論 ジェンダー論 ポジショナリティ論

ゼミ生のアイテムは相互教育力。
力をあわせて一生使える
「武器」獲得を目指します

池田ゼミでは、主に社会思想や権力論、ジェンダー論、家族論などを学んでいます。ゼミは3年生と4年生の合同ゼミ形式。毎週、先生そっちのけでゼミ生同士が熱く語っています。先輩と後輩が身近な話題から難しい話まで語り合うことで、自分一人では気づかなかった発見もあります。ゼミ生同士の相互教育。これが池田ゼミの最大の特色です。写真はゼミ生が協力しあって卒論の構成をKJ法という情報整理法を用いて考えている場面です。

社会にある権力関係や差別の諸相を、日本と沖縄の関係、植民地主義、性差(ジェンダー)などを通じて社会学的に研究しています。

松本 康 ゼミナール

担当科目 コミュニティの変容、都市論、社会調査法

KEY WORD ▸▸ 都市 文化 公共政策

座学だけでなく、
街歩きをとおして楽しく学んでいきましょう

グローバル時代の都市再生戦略として注目される〈創造都市政策〉や〈文化とまちづくりの関係〉について、事例をとりあげて研究します。具体的には、横浜市都心臨海部と金沢市の都市政策に焦点を当て、その背景、政策意図、実施過程と現状評価、課題などについて研究することをとおして、現代都市政策の特質を考察します。とくに2020年以降のコロナ禍でどのような影響が出ているかを調べます。

社会学の視点から、都市は何を生みだすか、何が都市を生みだすか、都市とはいかなる過程であるのかという3つの問いをめぐる理論的・歴史的・経験的研究に幅広く取り組んでいます。

若林 佳史 ゼミナール

担当科目 病と健康の心理学、発達心理学、感情とパーソナリティの心理学

KEY WORD ▸▸ 心理学 生老病死の心理学 危機の心理学

発達心理学と医療心理学を中心に
心理学を幅広く学び、
心理・教育分野での活躍を目指します

私たちが経験する生老病死について、またその際の援助のありようについて心理学の観点から考えていきます。時間が合えば療養所やポックリ寺などに勉強に行く予定です。公務員などへの就職にも力を入れており、公務員試験や教員採用試験で出た問題を一緒に解いていきます。3年次に心理学検定、4年次に心理系公務員の採用試験に合格して、卒業後最前線で活躍してくれるといいなと思っています。写真は知覚心理学の実験(左右／上下が反対に見える逆転眼鏡の着用)の様子。

深刻な病を経験した人やその家族の心理面に関心を持っています。最近は特にアフリカのハンセン病者がどのような生活を送り、どのような思いで生きてきたか、それを調べています。

近藤 和都 ゼミナール

担当科目 メディア史、メディアと社会変容、AI社会論

KEY WORD ▸▸ メディア論 カルチュラル・スタディーズ 映像文化史

「メディア」というレンズを通じて、
身の回りのことがらを
捉え直してみよう

本ゼミでは、特定の仕方で人びとや物事を結びつけ、情報を組織化するメディアに焦点を当て、それが織りなす文化や経験を分析します。ここでいう「メディア」が指す内容は広く、SNS、マスメディア、手帳、ミュージアム、鉄道等々が含まれ、これらに限られません。「メディアとして」捉え返すことで、それまでとは異なる認識のもと対象を理解できるようになるという前提から、様々な事例について調査・議論をしていきます。

映画やテレビ、動画配信にいたるまで、映像文化が人びとの日常生活にどのように組み込まれ、経験されてきたのかについて、メディア論や文化研究の知見に基づいて分析しています。

松本 早野香 ゼミナール

担当科目 ソーシャルメディア論、質的調査演習、オルタナティブ・メディア論

KEY WORD ▸▸ 社会情報学 コミュニティとITC インターネットの社会的応用

生活を変える新しいメディア。
ソーシャルメディア、地域メディア…

近年、インターネットをはじめとする新しいメディアが台頭し、私たちの生活を変えています。誰もがメディアを持つことができるけれど、誰もが上手に使えているでしょうか?悪影響も懸念されていますが、実際にはどうなのでしょうか?ゼミ生たちは、「『インスタ映え』を考えたい」「地元のラジオ局をおもしろくしたい」「自分の理想のメディアを作りたい」といった興味をスタート地点に社会や生活を考える研究をしています。

インターネットを中心とする新しいメディアの応用手法を提案して具体的な社会課題に取り組みながら、それを通して現代社会におけるメディアについて考察しています。

佐藤 信吾 ゼミナール

担当科目 基礎社会学、メディア学基礎、マスメディア論

KEY WORD ▸▸ マス・コミュニケーション ジャーナリズム 他者の合理性

理論と現場を行き来し、
社会学を「やりましょう」!

本ゼミの特徴は、文献講読を通じた社会学の丁寧な学びと、さまざまな現場に足を運ぶ社会調査を組み合わせるところです。特にニュースやマス・メディア、ジャーナリズムに焦点を当てます。私も含めて、みんなで教え合い、学び合う関係を築いていきましょう。さらにメディア業界の人の話を聞いたり、普段は行かないところを調査したりするなど、皆さんの視野を広げる機会も設けます。

私たちが思い描く過去のイメージ(特にアジア・太平洋戦争の記憶)がどのように作られるのか、記憶の社会学とジャーナリズム論を結びつけながら研究しています。

FIELD WORK

体験から学ぶ

社会的な視野を広げ、体験的な
学習をするために、大学の外に赴く授業もあります。
工場見学、企業見学、施設見学に行ったり、
フィールドワーク（社会調査）を行ったりします。

工場見学

どのように製品が
つくられているのかを
見学しました

企業見学

企業を訪問し、
製品開発の実際を体感しました

施設見学

三菱財閥の岩崎邸（文京区）を
ゼミで訪れました

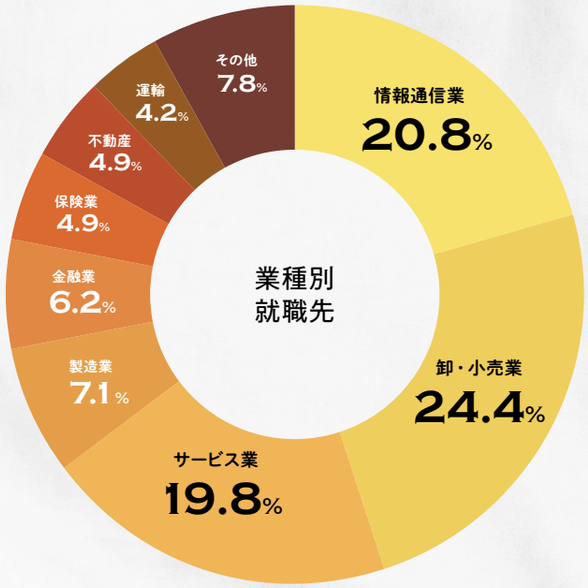
フィールドワーク

奈良・天理市の後援で
古代墳墓や寺社を巡りました

EMPLOYMENT STATUS

近年の就職状況

毎年高い就職内定率を記録しています。



就職率

94.7%

（過去3年平均就職率）

主な就職先

三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほフィナンシャルグループ、野村證券、SMBC日興証券、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、コナミホールディングス、バンダイナムコエンターテインメント、富士通エフ・アイ・ピー・システムズ、日本製鉄、スズキ、日本郵便、京王観光、セコム、JALナビア、パナソニックホームズ、東武百貨店、三井不動産商業マネジメント、豊島区役所、警視庁など

主な進学先

明治大学大学院、大妻女子大学大学院

卒業生 VOICE

デサントジャパン株式会社

木村 奈穂さん

在学中は勉強やラクロス部の活動で充実した日々を過ごしました。事務処理を迅速にこなす営業事務では、大学で学んだパソコン技術だけでなく、経済や社会に関する知識も生かせています。魅力的なラクロスウェアを開発するのが私の夢です。

SMBC日興証券株式会社

久米 涼羽さん

授業やゼミで、経済、企業の仕組み、日本の技術や文化を生かしたビジネスを学びました。在学中に学んだ経済の動きや金融商品の基礎、事務作業で不可欠なPCスキルなどは、現在の業務に大いに役立っています。